令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	34

担当課	産業振興課	担当課長	久芳　義則
事業担当者	中原　洋子	一次評価者	阿部　桂介
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	商工会との連携事業		
予算科目	7　款　1　項　1　目		
予算事業名	商工振興費		
総合計画での位置づけ（施策名）	商工業の振興		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	久山町プレミアム付商品券事業実施要綱		
事業の対象	久山町商工会及び商工事業者		
事業の目的	久山町商工会への活動支援を行うとともに、新たに商工振興につながる取り組みを商工会と連携して行うことによって、町の商工業の活性化を図る。		
実施期間 開始年度	平成　21　年度から		
実施期間 終了年度	令和　年度まで		
事業の内容	町の商工振興について、商工会と協働で進める事業を協議し、実施していく。 ・プレミアム商品券発行事業　・創業塾		

目的達成の指標（成果指標）

商品券精算額の割合

区分 年度	単位	2　年度	3　年度	4　年度	5年度
目標	%	100	100	100	100
実績	%	99.7	99.8		

指標設定の考え方	商工業の振興として共同で実施した取り組みの成果が判断基準になると考えたため。
計画時の懸案事項	商工振興につながる取り組みをいかにして商工会と協議しながら計画していくかが課題である。
計画時の懸案事項への対応	商工振興につながる新たな取り組みについて商工会と協議を行う。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　1,340 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.20	0.14	0.14	0.14
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	1,530	1,005	1,105	1,105
事業費	直接事業費	11,377	11,382	11,412	11,412
	人件費	1,530	1,005	1,105	1,105
	合計	12,907	12,387	12,517	12,517
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	12,907	12,387	12,517	12,517
	合計	12,907	12,387	12,517	12,517

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	11,377	11,382	11,412	11,412	11,412
実績	11,332	11,336			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
商品券の発行	回	1	1	1	1
		1	1		
実行委員会の開催	回	4	4	4	4
		4	4		
打ち合わせ会	回	1	1	1	1
		2	2		
商品券補助精算金額	円	6,650,000	6,650,000	6,650,000	6,650,000
		6,631,910	6,635,472		
創業塾終了人数	人	40	40	40	40
		23	29		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　1,333 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.2	0.14	0.14	0.14
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	1,530	1,005	983	1,105
事業費	直接事業費	11,332	11,382	11,336	11,412
	人件費	1,530	1,005	983	1,105
	合計	12,862	12,387	12,319	12,517
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	12,862	12,387	12,319	12,517
	合計	12,862	12,387	12,319	12,517

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	中原　洋子

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	3	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

本事業は、町内の商工業者当等の振興や地域の活性化を促進する役割があると考えており、必要性・公益性の高い事業である。商工会会員の中には、色々な事業積極的に事業に参加してある方もあるが、体制の見直しも必要と思われる。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

商工会と連携し、プレミアム付商品券の販売方法を一部変更して販売した。今年度もコロナウイルスの影響により、様々な活動が自粛されたが、町内の方々を元気つけるために打上花火を実施した。また、地域環境美化の推進を目的として花いっぱい運動や、冬季には久原交差点のケヤキに夜間イルミネーションの実施事業、町の主要交差点の地下道であり、通学路でもある久原交差点の地下道掃除活動や、町内の道路沿いに設置された違法広告物撤去作業、企業を考えている方たちを支援する創業塾の開設などが実施された。今後も商工振興につながる新たな取り組みについて、商工会と協議を行う必要がある。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価

評価者	阿部　桂介

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	3	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

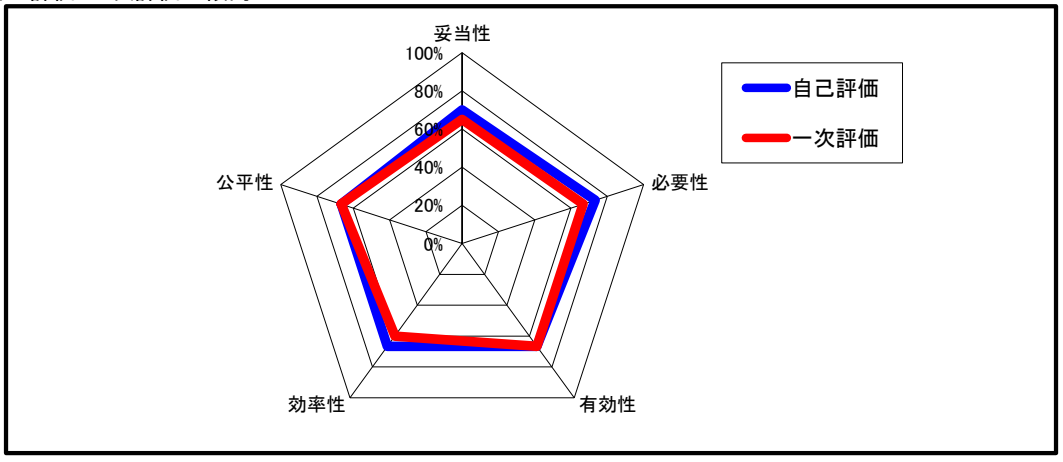
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

商工会の体制等により、自主事業等を展開するには、時間を要すると判断できる。コロナ禍で以前のような集客イベント等の開催は厳しいので、別の振興策の検討が必要と考える。プレミアム商品券について令和2年度に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用により町負担額を割増し商品券を例年より増刷して町商工会加入事業者への利用拡大を図ったが、令和3年度に関しては臨時交付金の代わりに町予算を増額し令和2年度同等の商品券発行枚数を確保した。令和4年度も同様に実施する予定である。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	久芳　義則

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

地域内の経済循環による商工振興策としては大切な事業である。商品券事業においても大規模店、中小規模店舗に分類し偏りがなくなるよう事業展開がなされるなど効果的に進められているため、事業継続は必要である。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）